

—冠動脈 CT—

冠動脈とは「心臓を栄養する血管」であり、心臓の表面を走行しています。この血管が狭くなることで、「狭心症」（心臓が自身に届けられる血液量が低下し、胸痛や息切れなどを引き起こす状態）が引き起こされ、日常生活に支障を来すことがあります。また、冠動脈が閉塞してしまうことで、生命にかかわる病気である「心筋梗塞」が引き起こされます。このように、冠動脈のトラブルは生活や命に直結するものですが、レントゲンや血液検査などでは、冠動脈の状態を把握することはできません。

2024年8月より、当院では冠動脈 CT を導入致しました。この冠動脈 CT 検査を行うことで、冠動脈に狭窄がないか、閉塞しかけているところはないか、などの情報を得ることができます。検査は20-30分程で、病院滞在時間は2時間程で施行できます（入院不要です）。

「胸の痛みが気になる」

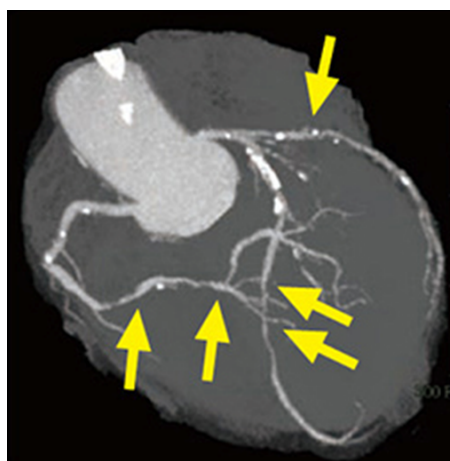
「動くとき胸が圧迫される感じがする」

「動くとき息切れがする」

「健康診断の心電図で異常を指摘された」

「家族に心筋梗塞になった人がいて、自分もならないか心配」

こちらのような症状や検査異常、ご不安のある方は、一度当院へご相談下さい。



冠動脈の狭窄(矢印)

文責 大森拓